

安全データシート

制定 平成 8年 2月 27日
改定 令和 4年 4月 20日

1.化学品及び会社情報

製品名	ハイポ液(チオ硫酸ソーダ液)	販売者：三笠産業株式会社 〒340-0043埼玉県草加市草加5-6-10
会社名	吉田化学工業株式会社	tel (048)941-8215
住所	東京都台東区雷門1-2-11 雷門フコク生命ビル2階	fax (048)943-4897
電話番号	営業部 03-5830-3781	FAX番号 03-5830-3667
緊急連絡先	吉田化学工業(株)営業部	TEL番号 03-5830-3781

2.危険有害性の要約

GHS分類 危険有害性は「分類できない」か「区分に該当しない」。普通薬。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	チオ硫酸ナトリウム液 (Sodium Thiosulfate Solution)
別名	ハイポ液

化学名又は一般名	CAS番号	濃度又は濃度範囲	化学式	化審法 官報公示整理番号	安衛法
チオ硫酸ナトリウム液	7772-98-7	31%	Na ₂ S ₂ O ₃	(1)-503	既存
水	7732-18-5	69%	H ₂ O	—	—

分類に寄与する不純物及び安定化添加物
: 情報なし

4.応急措置

吸入した場合	: 気道の確保を行い新鮮な空気を吸入すること。 体質によって症状の激しい場合もあるので、必ず医師の処置を受けること。
皮膚に付着した場合	: 水又は石鹼水で洗い流すこと。
眼に入った場合	: 清浄な水で最低15分間隔々まで眼を洗浄し、直ちに眼科医の手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は牛乳を飲ませるなど(無理に吐かせない)の応急処置をして医師の診断を受けること。意識のない場合には何も与えないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 情報なし
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	: 救助者は適切な保護具を着用すること
医師に対する特別な注意事項	: 症状に応じた処置をすること

5.火災時の措置

適切な消火剤	: 噴霧水、粉末、泡、炭酸ガスの消化剤が有効。
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
火災時の特有の危険有害性	: 本品は不燃性であるが、高温に曝されると分解し有毒なガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	: 水噴霧消火する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 消火活動には適切な保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 保護具を着用し、直接身体への接触をさけること。 (保護具とはメガネ、手袋、マスク、保護衣、保護靴である。)
環境に対する注意事項	: 隔離を行い土壌への浸透、河川・下水道への流入をさけること。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	: 危険でなければ漏れを止めること。
二次災害の防止策	: 完全に回収を行うこと。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。 洗眼施設、手洗い設備を取扱い場所に設置すること。
安全取扱注意事項	: 目、皮膚に触れないよう取扱い時は適切な保護具を着用すること。
接触回避	: 『10.安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	: 取り扱い後は手洗いをすること。
保管	
安全な保管条件	: 作業場の換気に留意すること。酸類及び酸化剤と急激に混合しないこと。
安全な容器包装材料	: 密封できる耐蝕容器に保管し、高温、直射日光を避けること。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 規定なし
許容濃度	: 日本産業衛生学会(2004) 規定なし ACGIH(2002) 規定なし
設備対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼設備及び身体洗浄の設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	: 防毒マスク(亜硫酸ガス用)
手の保護具	: ゴム、プラスチック製の保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡又は保護面
皮膚及び身体の保護具	: 作業衣(長袖)、作業帽、ゴム長靴

9.物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 無色～淡黄色透明
臭い	: なし
凝固点	: -11 °C

沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
下限	: データなし
上限	: データなし
引火点	: なし
自然発火点	: なし
分解温度	: データなし
pH	: 7.50±1.00
動粘性率	: 約6.3 cP (25 °C)
溶解度	: 45 % (20 °C水)
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.3 (25 °C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ	: データなし

10.安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管状況であれば安定である。
危険有害反応可能性	: 酸類と混触すると亜硫酸ガスを急激に放出する。
避けるべき条件	: 高温にならないようにする。
混触危険物質	: 酸類・酸化剤
危険有害な分解生成物	: 亜硫酸ガス

11.有害性情報

急性毒性	
(経口)	: 300 mg/kg/7 days (報告されている最低中毒量)
(経皮)	: データなし
(吸引)	気体 : 気体ではない。 蒸気 : データなし
皮膚腐食性/刺激性	: ほとんどない
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	: 刺激性があり炎症をおこす
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
【呼吸器感作性】	: データなし
【皮膚感作性】	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
生殖毒性・授乳影響	: データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境急性有害性	: LC ₅₀ Daphnia magna (オオミジンコ 甲殻類) 24 時間 = 4,490 ppm
	: LC ₅₀ Daphnia magna (オオミジンコ 甲殻類) 48 時間 = 2,450 ppm
	: LC ₅₀ Daphnia magna (オオミジンコ 甲殻類) 96 時間 = 1,600 ppm
	: LC ₅₀ Gambusia affinis (カダヤシ 小淡水魚) 96 時間 = 4,800 ppm

残留性・分解性 : 残留性の情報はない。分解性は環境に対して安全方向に分解する。

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 非該当
UN No	: Not applicable
Proper Shipping Name	: Not applicable
Class	: Not applicable
Sub Risk	: Not applicable
Packing Group	: Not applicable
Marine Pollutant	: Not applicable
Transported in Bulk	
Aocording to MARPOL	
73/78,Annex II ,the IBC Code	
航空規制情報	: 非該当
UN No	: Not applicable
Proper Shipping Name	: Not applicable
Class	: Not applicable
Sub Risk	: Not applicable
Packing Group	: Not applicable

国内規制

陸上規制情報	: 非該当
海上規制情報	: 非該当
航空規制情報	: 非該当
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
クラス	: 非該当
容器等級	: 非該当
品名	: 非該当

輸送又は輸送手段に関する
特別の安全対策 : 耐衝撃性容器を使用し強酸及び酸化剤との混載を避ける。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を
確実にを行う。

15.適用法令

労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
水質汚濁防止法	[各都道府県の排水基準による]
下水道法	[各都道府県の下水処理基準による]

16.その他の情報

参考文献	化学便覧
	理化学辞典
	CHEMLIST ファイル
	STN データベース
	独立行政法人 製品評価技術基盤機構
	THE MERCK INDEX
	The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data
	ACGIH(2002) Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Indices

など

[ご注意]

- ・この安全データシート(SDS)は弊社製品を適正にご使用いただく為に必要な一般的注意事項を簡潔にまとめたものです。特殊なご使用、取扱いをする場合には用途、用法に適した安全の確認と対策を実施してご使用下さい。
- ・記載内容は現時点において入手できた文献、試験データ等に基づいて作成しておりますが、組成、成分、含有量、物質・化学的性質、危険・有害性等の表記に関して、いかなる保証をなすものではありません。
- ・すべての化学製品には未知の危険有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいをお願いします。
- ・この情報は、新たな文献や試験結果、法律の改正等、新しい知見により改定されることがあります。